

保育所における自己評価(令和5年度)

浦安駅前保育園

今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、  
次年度の保育計画に生かすことをねらいとして  
4段階で評価を行う。

A : 大変よい・よくできている  
B : よい・できている  
C : 一部改善を要する  
D : 改善を要する

自己評価の観点		自己評価の視点	評価
I 保育理念	<b>1. 子どもの最善の利益の考慮</b>		
	①子どもの人権の尊重	子ども一人一人の違いや思いを受け止め、自ら育つ権利を平等に尊重しているか。	B
	②保育方針・保育目標	保育方針を基本に、保育園の地域性や、家庭状況などの実態を踏まえ、明日を生きる力と豊かな人間性の基礎を培う目標になっているか。	B
II 子どもの発達援助	<b>1. 子どもの福祉を推進することに最もふさわしい生活の場</b>		
	①健康・安全で心地よい生活	子どもの生活リズムを大切に、健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を整えているか。	A
	②子どもの主体的な生活	子どもが自発的、意欲的に関わられるような環境を構成し、主体的な生活ができる場になっているか。	B
	③人との関わりを育む環境	子どもは大人によって生命を守られ、愛され、信頼されることにより、情緒が安定するとともに、人への信頼感、自己肯定感が育つ。そのための環境を整えているか。	A
	<b>2. 生活と発達の連続性</b>		
	①子ども観・発達観の理解と共有	めざす子ども像及び発達観を理解し、共有しているか。	B
	②発達過程に応じた保育	子どもの発達や特性を理解し、発達過程に応じた生活の連続性に配慮した保育をしているか。	B
	③個人差への配慮	子どもの発達の特性とその道筋を十分理解し、一人一人に応じ、見通しを持った保育をしているか。	B
	④生活の連続性	保育時間などの違いに配慮するとともに、家庭との連携を視野に入れた保育をしているか。	A
	<b>3. 養護と教育の一体的展開</b>		
	①主に乳児保育における養護と教育の一体的展開	保育士等が子どもを一個の主体として尊重し、その命を守り、情緒の安定を図りつつ乳幼児期にふさわしい経験が積み重ねられていくように援助しているか。	A
		一人一人の発育及び発達状態や健康状態について適切な判断に基づく保健的な対応をしているか。	A
		一人一人の生育歴に留意しつつ、欲求を適切に満たし、特定の保育士が応答的に関わっているか。	A
		3つの視点をもとに養護・教育の一体性を意識して保育をしているか。	B
	②主に1, 2歳児の保育における養護と教育の一体的展開	探索活動が十分できるように、事故防止に努めながら活動しやすい環境を整え、全身を使う遊びなど様々な遊びをとりいれているか。	A
自我の発達を促し自己主張を受け止め、子どもの気持ちに沿った保育をしているか。		B	

	③主に3, 4, 5歳児の保育における養護と教育の一体的展開	子どもの情緒が安定し、自己を十分に発揮した活動を通して、やり遂げる喜びや自信を持つことができるように配慮しているか。	A
	④保育の実施に関して留意すべき事項	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識して保育しているか。	A
		保育園保育と小学校教育との円滑な接続を図るように努めているか。	B
	<b>4. 環境を通して行う保育</b>		
	①保育の環境 ・人的環境	子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わっていくことができる環境が整っているか。	B
		・物的環境	子どもの活動が豊かに展開されるよう、保育園の設備や環境を整え、保育園の保健的環境や安全の確保などに努めているか。
	・空間	保育室は、温かな親しみとくつろぎの場となるとともに、生き生きと活動できる場となるように配慮しているか。	A
	・自然や社会事象等	命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培うことができているか。	A
	②環境の構成・再構成	人、物、場等の環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かなものとなるよう計画的に構成し実践、評価したうえで、再構成した環境の中で保育をしているか。	A
		子どもの気づき、発想や工夫を大切にしながら、子どもとともに環境の再構成をしているか。	B
Ⅲ 子育て支援	<b>1. 家庭との緊密な連携</b>		
	①子どもの成長の喜びを共有	一人一人の保護者と日常的な情報交換に加え、個人面談等を行っているか。	A
	②保育内容の説明・応答責任	保護者に対し、保育園における子どもの様子や日々の保育の意図などを説明し保護者との相互関係を図るよう努めているか。	A
		保護者の考えや提案を積極的に聞き、適切と思われるものについては、保育に取り込むよう努めているか。	B
	③子育てに関する相談援助	保護者の気持ちを受け止め、相談・援助にあたっては相互の信頼関係を基本に各家庭の実態を踏まえ、保護者自身の主体性、自己決定を尊重しているか。	B
	④保護者への個別支援	保護者と子どもの状況（障害、発達上の課題、外国籍等を含む）を踏まえ、組織として子どもや家庭を援助する体制づくりを行っているか。	B
		保護者に育児不安等が見られる場合には、子どもの最善の利益を重視した個別の支援を行うよう努めているか。	A
	<b>2. 地域における子育て支援</b>		
	①保育所機能の開放	子育て家庭への施設及び設備の開放、体験保育など保育所機能の開放をしているか。	A
		育児相談や交流の場の提供など、地域の子育て家庭の支援を行っているか。	B
②関係機関との連携	地域の関係機関、団体等との積極的な連携及び協働し、子育て支援に関わる地域の人材の積極的な活用を図るよう努めているか。	B	

	③情報提供	地域における保育に関する情報を常に把握し、子育て支援に関する情報を保護者に適切に提供しているか。	B
IV 保育を支える組織的基盤	<b>1. 健康及び安全の実施体制</b>		
	①健康の保持及び増進	子どもの健康に関する保健計画を作成し、全職員がそのねらいや内容を明確にしなが一人一人の健康保持及び増進に努めているか。	A
		登降園時や保育中の子どもの健康管理はマニュアルがあり、子ども一人一人の健康状態並びに発育、発達状態を把握し、健康管理を実施しているか。	A
		入園児童の健康診断の結果について保護者や職員に周知すると共に日々の保育に反映させているか。	A
		感染症の予防に努め、必要に応じてその情報や対策を保護者に知らせているか。	A
		アレルギー疾患を持つ子どもの状況に応じて適切な対応を行っているか。	A
	②安全・衛生管理	疾病の疑いや障害、不適切な養育などが疑われる場合、保護者や嘱託医などの関係機関と連携し、適切な対応をしているか。	B
		施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具などの衛生管理に努めているか。	A
		衛生面や安全性に配慮し、給食をしているか。	A
		子ども及び職員の衛生管理を適切に実施しているか。	A
		事故発生に備え、施設内外の危険箇所の点検や訓練を実施し、安全対策のための体制が周知、徹底されているか。	A
	③災害への備え	定期的に防災設備、避難経路の点検を行い、安全環境の整備に努めているか。	A
		災害発生時に子どもの引き渡しを円滑に行うため、日頃から保護者と連絡体制や引き渡し方法等について確認しているか。	B
	④家庭や保健・医療機関との連携	地域の関係機関と日常的に連携を図り、必要な協力が得られるよう努めているか。	B
		健康で安全な子どもの生活確立のために保護者と常に密接な連携を図り、家庭での子どもの生活実態把握など情報収集しているか。	B
		子どもの健康と安全、食生活や食育に関する活動については保育園から家庭に情報提供をしているか。	A
	⑤食育の推進	保育園における食育は、健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成であることを全職員が理解して進めているか。	B
		食育計画に基づき保育の実践・評価を行い、改善を図っているか。	A
	<b>2. 職員の資質向上</b>		
	①保育の計画	0歳から6歳まで一貫性を持った全体的な計画を作成しているか	A
保育の計画が保育の基本方針に基づいているか		A	
指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を見直しているか。		A	
②保育士等の自己評価	保育士等は自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めているか。	B	

	③保育園の自己評価	保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、定期的に保育園の自己評価を行い、改善を図っているか。	B
		学び合う環境を醸成していくことにより、保育園の活性化を図っているか。	B
	④研修	研修の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	B
		全体的な計画につながる研修をしているか。	B
	<b>3. 運営・管理・社会的責任</b>		
	①法令等の遵守	保育園運営管理に必要な法令を理解し、遵守しているか。	B
		保育園の子どもの人権が守られているか。	B
	②個人情報の取り扱いと苦情解決の責任	個人情報について、適切な取り扱いをしているか。	B
		苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われ、機能しているか。	B
		利用者からの苦情・要望に対して迅速に対応しているか。	B
	③施設長の責務	保育園の保育理念及び基本方針は明文化しているか。	A
		保育理念や基本方針は職員、保護者、関係者に周知しているか。	A
保護者や地域に対して、保育を理解してもらうための説明責任を果たしているか。		B	
園内研修を充実させると共に外部研修への参加の機会を確保し、組織として保育の質の向上を図っているか。		B	
職務内容や経験に合わせた人材育成をしているか。		B	
職員のメンタルケアを日頃から意識して行っているか。		C	
<b>V</b> 評価・反省	<p>●今年度の自己評価はクラスごとに設問を評価し、その集計結果の平均値をA～Dの4段階で表記した。</p> <p>●評価結果ではおおむねできているという表記となっているが、クラスの回答からは改善を要する旨の意見もあったため、各種会議や委員会活動を通して、引き続き保育園の質の向上を目指した取り組みを行っていくことが必要だと考えている。</p>		